

平成20年12月
富士電機システムズ株式会社
オートメーション事業本部
コントローラ統括部

MICREX-SXシリーズ SPB機能拡張のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、富士プログラマブルコントローラをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、MICREX-SXシリーズ SPB (SXモード) において、ファームウェアのバージョンアップによる機能拡張を行ないましたのでご案内申し上げます。

敬具

－ 記 －

1. SPB変更内容

項目	対象形式	機能拡張項目
ファームウェア変更	基本ユニット NWOP20□-3□ NWOP30□-3□ NWOP40□-3□ NWOP60□-3□ NWOP40□-3□C NWOP60□-3□C	(1) 高速カウンタ現在値更新タスク設定対応

2. 変更に伴う注意事項

(1) SPB本体の変更はありません。

SXモードはプログラミング支援ツールExpertより、システムソフトを更新することで使用することができます。

(2) 対応バージョン

ファームウェアバージョン「V05」以降にて対応します。

(3) 価格、および形式は、現行製品と同一で、変更はありません。

(4) 本機能を使用するには、プログラミング支援ツール SX-Programmerのバージョンアップが必要です。

同梱されているシステムソフトウェアリテリティーにより、対象基本ユニットのシステムソフトを更新して下さい。

・Expert (D300win) V3 (NP4H-SEDBV3) : V3.4.5.0以降

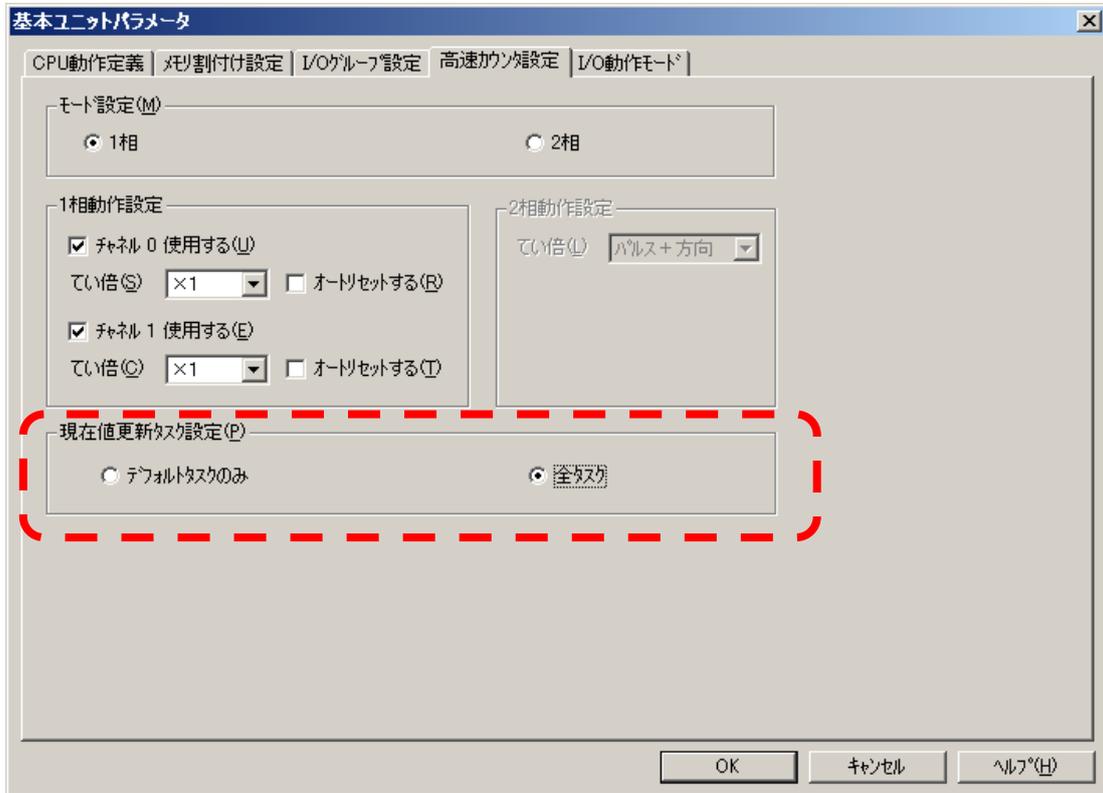
3. 機能拡張

(1) 概要

高速カウンタの現在値更新を定周期タスク／イベントタスクに同期して更新させることを可能にしました。

従来は高速カウンタの現在値はデフォルトタスクに同期して更新していたため、デフォルトタスクの実行時に更新された値となり、最大でデフォルトタスクの実行周期分のぶれが発生していました。

今回の機能拡張により、高速カウンタの現在値を各タスクに同期して更新できるので、各タスク内で読み込んだ高速カウンタ現在値のぶれを最大でタスク実行時間分に抑えることができます。



デフォルトは、従来品との動作互換を保つため「デフォルトタスクのみ」です。

(2) 注意事項

1 タスク内で 2 回以上高速カウンタの現在値を読み込んだ時、上位タスクの起動によりその値が変化している場合があります。

以 上